関西人が知らない城下町・尼崎、ぶらり散策！

令和4年10月4日（金）

「え、尼崎（あま）にお城が建っていた！嘘やろ？」「いやいや、実は立派な城下町なんや、尼崎（あま）は！」尼崎（あま）は、“ジョー”たっぷりの城下町！情の町・尼崎に、尼崎城天守が再建されたのである。そう、尼崎（あま）は昔も今も城下町なのだ。

そんな“ジョーの町”には、他にも“ジョー”がいっぱい。“人ジョー”溢れる温かい商店街、“愛ジョー”いっぱいのご当地グルメ、“旅ジョー”に浸る寺町の寺院。“ジョー熱”がぶつかるボートレース・ショーに、美しい“ジョー景”を作り上げるフォトジェニックな「工ジョー群」。

そして、“ジョー緒”豊かな人形ジョー瑠璃。歴史、文化、グルメ、レジャー・・・。どれをとってもオモロさ満載！尼崎ジョー下町は、あなたのジョー識を超えるんです。

145年の時を経て、尼崎城再建

尼崎で創業した家電量販店の創業者の寄贈により、尼崎城が廃城から145年振りに再建され、平成31年3月29日にオープンしました。
江戸時代の城下町にタイムスリップできる「大迫力VRシアター」など、尼崎の歴史や文化を発見・体験できる魅力が満載。「来て・見て・触って・体験してもらう」ことで、いつまでも愛されるみんなの尼崎城を目指します。

明治維新で取り壊された尼崎城！急速な都市化が進む中で、城下町はすっかり本来の姿を変えた。しかし城があったという記憶は失われることなく、再建を望む声が何度も浮上しては、資金不足や景気の影響などであえなく断念。

そんな歴史を知ってか知らでか？「創業の地に恩返しがしたい！」と、この町で生まれた家電量産店の創業者が，１０億円を超える私財を投じて、尼崎城天守の建設に着手したのだった。

そんな彼の姿に、市民や尼崎を愛する仲間も共鳴。「一口城主」や「一枚瓦」などで寄せられた寄付額は、凡そ１億９千万円にのぼる。大阪の西の守り、世にも美しい天守。平成最後の年に悲願の城が此処に蘇ったのだった。

尼崎市観光パンフレッド『ジョーのある町・尼崎』より

……

〇参集地：JR「茨木」駅改札口　８時 20 分（時間厳守）

〇順　路：茨木 831⇒843 大阪／梅田（阪神）850⇒859 尼崎（阪神）～915 城址公園（復興天守）1015～1030 貯金箱博物館 1055～1100 尼信会館・寺町（ボランティア・ガイド 90 分コース）1230～中央商店街～1250 尼崎（阪神）一時解散～1300 都ホテル尼崎（昼食 90 分）1430 自由解散

〇昼の宴：都ホテル尼崎　日本料理「つのくに」13：00～14：30　（20 名とする）
“四季彩弁当 2,750 円（税・サービス料込）”　※酒類は各自払いとする。
尼崎市昭和通り２-７-１　☎050-3503-6791

四季折々、季節の趣を感じるお料理で、ゆったりと流れるひと時を素材に、吟味を尽くして四季の恵みを味わう愉しみ。季節を感じさせる設えや器を愛でる愉しみ。
そんな日本料理の醍醐味をご堪能ください。　（「つのくに」HP より）

〇定　員：20 名（宴席あり）＋若干名（宴席なし）

〇入館料：尼崎城 500 円

〇交通費：茨木⇒尼崎（阪神）460 円（220 円＋240 円）×２＝920 円

〇参加費：無料（会員外は資料代 100 円）　※会員には、会より 1,000 円の補助あり。

〇その他：“尼崎市民ボランティア”による「尼信会館～寺町」案内に、乞うご期待！

〇申込先：「街 ing いばらき」代表・阪田浩（080-1436 - 9881）　※会員外のご参加、大歓迎。
Tel＆Fax／072 - 627-3480　E-mail／ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

※本会行事は、自由参加です。不測の事故・傷害などは、自己責任でご対応ください。